

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	美術
----	----

発行者略称	発行者番号	教科書の記号・番号	教科書名	選定委員から付された意見
開隆堂	9	美術 009-72 009-82	美術1 美術2・3	<ul style="list-style-type: none">・アイデアシートなど授業で活用しやすく、主体的で自由に発想や構想を膨らませることができる構成である。・教科書の表紙の鮮やかなタイルやゴッホの作品の表面のマチエールなどの筆跡を見て、触って、楽しめる工夫がある。・わかりやすくめあてが整理され、見通しをもって学習に取り組みやすい。・様々な視点で作品を紹介するなど、丁寧に作品が取り上げられている。・参考となる作品や生徒作品が充実している。
光村	38	美術 038-72 038-73 038-82	美術1 美術1 資料 美術2・3	<ul style="list-style-type: none">・吹き出しにより、生徒が主体的に考え話し合える工夫がされている。・「みんなの工夫」では、技術的な内容にも触れられていて、作品作りを進めやすい。・デジタルコンテンツが充実しており、わかりやすく活用しやすい。・日本の絵画や仏像など、鑑賞作品の取り扱い方がよい。・事故防止について、子どもの安全や衛生面について配慮が見られる。・章末に学びの資料が掲載されているが、内容がやや乏しい。
日文	116	美術 116-72 116-83 116-84	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と深まり 美術2・3下 学びの探求と未来	<ul style="list-style-type: none">・系統的な学びが、作品制作における発想や表現に広がり期待できる。・観点、学びの目標が示されており、見通しをもって学習を進められる。・一般的な生徒作品が掲載されておりイメージがつかみやすい。・技法についての掲載は多い。・章末の学びを支える資料は、制作や授業の流れのイメージがしにくい。・身近にあるデザインや工芸の内容にまとまりがなく、発想や構想を膨らませにくい。